

# ABA 海外視察レポート 第3弾

## 2017年1月 ベトナム塗装工場他視察 実施報告書 (要約)

### パート④ 粉体塗装建築物見学編

#### 3.6 粉体塗装建築物の概要

Akzo Nobel Powder Coatings Japan Office Ahn 氏の案内により、同社のポリエステル系粉体塗料が採用されたホーチミン市内の建築物外装 2 件と、日系の大林ベトナムが施工したイオンモール 1 件を視察した。

視察の案内者は、Jungjune Ahn 氏 (Akzo Nobel Powder Coatings Japan Office)、Chenny Ho 氏 (Country Sales Manager) \*, Huynh Thi Thuy Quynh 氏\* であり、Ho 氏と Quynh 氏は SSG Pearl Plaza のみである。

視察した建築物の概要を表 3.6.1 に、所在地を図 3.6.1 に示す。

表 3.6.1 視察した建築物の概要

建築物名称	施工年	塗料	色調	光沢	視察部位
SSG Pearl Plaza	2014 年	Interpon D2010	グレー メタリック	艶消	外装及び内装 アルミサッシ
イオンモール ビンズ オンキャナリー	2014 年	-	-	-	-
Pullman Saigon Centre Hotel	2012 年	Interpon D2015	-	-	-



図 3.6.1 視察した建築物の所在地

建築物の詳細な所在地は、以下の通りである。

**【SSG Pearl Plaza】**

住所：561A Dien Bien Phu St., Ward 25, Binh Thanh Dist., Ho Chi Minh City

**【イオンモール ビンズオンキャナリー】**

住所：Canary Complex Area, No.13 Highway, Binh Hoa Ward, Thuan An Town, Binh Duong Province

**【Pullman Saigon Centre Hotel】**

住所：148 Tran Hung Dao Boulevard, District 1, Ho Chi Minh City

**3.6.1 SSG Pearl Plaza**

2014年に施工されて約2年を経過したショッピングセンターで、建築物のサッシの屋外面部と屋内面にポリエステル系粉体塗料が施されており、粉体塗装が施されたサッシは東西南北すべての面に採用されている。色調は、塗膜表面が凹凸のテクスチャーを有するグレーメタリックである。

視察する直前に Akzo Nobel 社の Huynh Thi Thuy Quynh 氏から、当時の色調見本板を配付され、見本板を突き合わせて色調や光沢の変化を確認することができた。

1階南東面のサッシ屋外面には設置後の汚れが付着しており、その汚れを拭き取り見本板と突き合わせると、色違い等の違和感を覚えることはない。

また、メタリックの色調やテクスチャーの状況も違和感を覚えることがない。同様に1階店舗で北西面に取付けられたサッシの屋内面と見本板を突き合わせると、屋外面と同様に色違い等の違和感を覚えることはない。



写真 3.6.1 SSG Pearl Plaza



写真 3.6.2 色調見本板



写真 3.6.3 SSG Pearl Plaza 外部



写真 3.6.4 色調見本板との確認 (外部)



写真 3.6.5 SSG Pearl Plaza 内部



写真 3.6.6 色調見本板との確認（内部）

### 3.6.2 イオンモール ビンズオンキャナリー

イオンモール ビンズオンキャナリーは、大林ベトナムの施工により 2014 年にオープンした大型ショッピングモールである。イオングループとしてはベトナムに出店した 2 号店であり、店内は買い物客で賑わっていた。

建築物は 3 階建であり、残念ながら粉体塗料が適用された部位を Akzo Nobel 社も明確に把握できておらず、色調見本板も用意できていなかった。

ショッピングモールを 1 階から屋上まで確認すると、窓枠（サッシというほどではなく、アルミニウム合金型材を鉛直方向と垂直方向に組合せたような簡易な部材に見える）に Akzo Nobel 社の白色ポリエステル系粉体塗料が採用されているものと推測される。

接近できる 1 階の窓枠で確認すると、塗膜外観には特に問題がなく、周囲と調和しているようである。



写真 3.6.7 イオンモールビンズオンキャリー 外観



写真 3.6.8 イオンモールビンズオンキャリー 窓枠

### 3.6.3 Pullman Saigon Centre Hotel

2012 年に施工されて約 4 年を経過したホテルで、三角柱に近い形状をした建築物である。急遽訪問したこともあり、ポリエステル系粉体塗料が採用されている建築物であるが、Akzo Nobel Powder Coatings では明確に粉体塗料が施された箇所を示すことができなかった。しかし、視察参加者の井上氏による施工業者である Permasteelisa（2011 年に LIXIL が子会社化）への確認および外部と 1 階内部を調査した結果、その特徴的な塗膜表面から外部サッシ及びドア部の枠パネルに粉体塗料が採用されているものと推測された。ドア部の枠パネルを確認したところ、塗膜外観に特に問題はなく、周囲と調和しているように感じられる。



写真 3.6.9 Pullman Saigon  
Centre Hotel (北東面)



写真 3.6.10 Pullman Saigon  
Centre Hotel (南東面)



写真 3.6.11 Pullman Saigon Centre Hotel ドア枠パネル